



111.5×176

17. 天の岩戸図 明治32年(1899)

上小埜 木戸八幡神社 (目録 13)

神話による天の岩戸の図柄である。高天原天照大神が弟須佐男命の乱行を怒って、天の岩戸に隠れたため、世の中が暗闇になった。こまった八百万の神々は相談のうえ天照大神を天の岩戸から連れ出し、明るい世界に戻った神話の絵馬である。色褪せもなく額の作りも頑丈で、縁は唐草模様の金具を施してある。奉納者は上小埜の早川儀平が42歳の厄流しに奉納したものである。絵師高荒芳州。



91.7×181.7

18. 天の岩戸図 大正4年(1915)

北田 北田神社 (目録 1)

八百万の神々の雅楽で天照大神が舞っている絵柄で、同じ天の岩戸図である。これは大正天皇が即位後、初めて新穀を天照大神にそなえる天皇一代に一度の大嘗祭を記念して、北田氏が奉納したものである。